

**令和6年度**

**立正大学 仏教学部  
社会人オープン講座**

**< 募集要項 >**

**【受講説明会日程】**

**令和6年3月29日（金） 14時00分より**

**※ 会場には13時30分頃から入室できます**

御 挨拶

立正大学仏教学部は、これまで培ってきた教育・研究成果を広く社会に還元する活動の一つとして、平成二（一九九〇）年度より「社会人オープン講座」を開設してきました。

ご存知の通り、仏教は北インドで発生した後、アジア各地域に伝播・展開し、精神文化の中核となって日常生活に息づいています。また、釋尊の教えが編まれた仏教經典の中にあつて、法華經は「諸經の王」として重んじられ、鎌倉時代に活躍した日蓮聖人もまた、生涯を法華經の実践に捧げられました。

立正大学は、この日蓮聖人の行動と思想を建学の拠り処（建学の精神）として設立され、令和四（二〇二二）年に近代的な教育機関として開校してから百五十周年を迎えましたが、その淵源は、天正八（一五八〇）年に日蓮宗学徒の教育機関として創設された飯高檀林に求められます。

仏教学部は、この飯高檀林から続く仏教の教育・研究の伝統を直接に継承し、社会に貢献する人材の育成に力を尽くしてきました。悠久の歴史を持つ仏教思想・仏教文化、および法華經、日蓮聖人の行動と思想を中心に、多面的な講義を長年にわたって開講し、その一端を社会人の皆様が受講して頂けるように、「社会人オープン講座」を開設してまいりました。

このような主旨のもとに、令和六（二〇二四）年度は別表のような講義を開設いたしますので、本要項をご高覧のうえ受講をご検討頂ければ幸いに存じます。皆様方のご受講を心よりお待ち申し上げます。

令和六年二月吉日

立正大学仏教学部長

安中 尚史

各 位

# 令和6年度 立正大学仏教学部社会人オープン講座 受講要領

## 1. 開設の趣旨

立正大学仏教学部では、生涯教育の一環として、また日本精神文化の華である仏教を広く紹介するために、社会人に対するオープン講座を実施しています。この講座の特徴は、社会人のみによるクラスを編成するのではなく、社会人の方を学生が受講する学部開設の授業（一部）に出席を認め、学生と共に学習するところにあります。

## 2. 資格

高等学校卒業程度以上の学力があり、年間を通じて通学できる意欲のある方。

## 3. 募集人員

若干名

## 4. 受講期間

令和6年度の1年間（立正大学の学年暦に従います）

## 5. 出願手続および問い合わせ先

①期 間 令和**6年2月21日**(水)~**3月6日**(水)まで【**必着**】（**郵送のみ**）

②提出書類 社会人オープン講座受講志願票・誓約書（本学部所定のもの）

※社会人オープン講座受講志願票では写真（4cm×3cm上半身脱帽）の添付が必要。  
（なお、添付いただいた写真は、社会人オープン講座生証に使用させていただきます。）

③出願先(問い合わせ先) 立正大学仏教学部事務室<社会人オープン講座係>宛

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16 TEL03(3492)8528 E-mail: bst@ris.ac.jp

<交通アクセス>

JR山手線・都営地下鉄 浅草線「五反田駅」下車（徒歩約5分）

JR山手線・湘南新宿ライン・埼京線・東京臨海高速鉄道りんかい線「大崎駅」下車（徒歩約5分）

東急池上線「大崎広小路駅」下車（徒歩約1分）

※ 提出書類は黒のペン・ボールペンを用いて、はっきり楷書でご記入ください。

※ **出願期間経過後の受付はいたしません。期間内の出願をお願いします。**

## 6. 選考

①日 時 令和**6年3月29日**（金） **14時00分**から

②場 所 立正大学 品川キャンパス 9号館

※ 新規に社会人オープン講座受講を希望される皆様…**9B11**教室

※ 過去に社会人オープン講座を受講いただいた皆様…**9B21**教室

◎会場には13時30分頃から入室できます

③選考方法 書類審査および面接

④選考料 無料

※ 選考のご案内等はお送りいたしませんので、当日会場までお越しください。

※ 当日やむを得ず欠席される場合は、事前連絡（仏教学部事務室03-3492-8528）をお願いいたします。

## 7. 受講許可

選考日当日にお知らせいたします。また、当日は受講説明会も行います。

## 8. 受講科目

令和6年度仏教学部社会人オープン講座として開設された講座（下記開設表参照）の中から3講座（通年は1講座、半期は0.5講座と考え、全受講を半期とした場合は、第1期・第2期で各3講座が上限となります。）を限度として選択し、受講できます。ただし、受講者数等の関係により受講講座を変更・中止していただくこともあります。また、受講講座によっては、担当教員が受講許可試験または面接を実施する場合があります。なお、社会人オープン講座では単位の認定はありません（成績評価ならびにレポート返却もいたしません）。単位・資格の必要な方は、科目等履修生制度によって受講されることをおすすめします。

## 9. 修了証

受講状況が良好で修了証を希望する受講生には、令和7年3月頃に「修了証」を授与します。

## 10. 社会人オープン講座生証（身分証明証）の発行

立正大学品川図書館の利用や、一部授業での出席確認に使用します。

## 11. 費用

①入学金 無料

②受講料

通年の講座（1講座）は**30,000円**、半期の講座（0.5講座）は**16,000円**

「国内仏教文化研修2」・「海外仏教文化研修2」は各**16,000円**

「芸術実習〔仏像I〕」は**30,000円**

※ 受講料納入後のご返金についてはお受けできませんので、ご了解願います。

③教科書・教材・研修旅行参加費等は自己負担

※ 「国内仏教文化研修2」・「海外仏教文化研修2」の研修旅行参加費等に受講料は含まれていません。研修旅行参加費等とは別に、所定期間内に上記受講料の納入が必要となります。

## 12. 受講上の注意

①講座担当教員や本学職員・学生に迷惑をかけるような行為があった場合には、受講をお断りすることがあります。同一講座の受講は原則として2年を限度とします。無届け講座・無許可講座等の受講はご遠慮ください。

②社会人オープン講座では単位認定がありませんので、社会人オープン講座生は定期試験期間中に実施される試験を原則受験いただけません。また社会人オープン講座生は学割（通学を含む）を利用できません。

③授業は対面授業で行われますが、**授業回によっては急遽オンライン授業（オンデマンド型＝録画した授業動画の配信による授業）に変更となる場合があります。**その場合、ご自身所有のPC・インターネット環境を使用して受講をお願いします（PC等の貸出しは行っておりません）。また、**オンライン授業の具体的な受講方法についてはポータルサイト「お知らせ」よりご案内します。**何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

# 令和6年度 立正大学仏教学部社会人オープン講座 開設表

|   |                         |                |                      |
|---|-------------------------|----------------|----------------------|
| <b>通年</b>   | <b>宗学概論 1・2</b>         | <b>担当</b>      | <b>田村亘禰・月3限</b>      |
| 日蓮聖人によって構築された独自の法華教学＝「宗学」の基本的事項を、順々に学修します。  |                         |                |                      |
| <b>通年</b>   | <b>法華経概論 1・2</b>        | <b>担当</b>      | <b>原 慎定・金3限</b>      |
| 日蓮宗の根本聖典である漢訳『妙法蓮華経』の構成と教えの概要をたずねます。さらに天台・伝教両大師の法華経観と対比して、日蓮聖人教学の特色を明らかにしたいと思います。   |                         |                |                      |
| <b>通年</b>   | <b>日蓮聖人伝 1・2</b>        | <b>担当</b>      | <b>本間俊文・金2限</b>      |
| 日蓮聖人の生涯を思想と行動の両面から探り、最新の研究成果を踏まえながら、法華経弘通に邁進した激動の生涯を紐解いていきます。   |                         |                |                      |
| <b>通年</b>   | <b>立正安国論講義 1・2</b>      | <b>担当</b>      | <b>三輪是法・火5限</b>      |
| 『立正安国論』は、日蓮聖人の主要著書の一つです。本講義では、本書を通読して内容を理解することはもとより、近代日本において『立正安国論』がどのように読まれたのか、ということについても確認します。  |                         |                |                      |
| <b>第2期</b>  | <b>日本仏教史特論 4</b>        | <b>担当</b>      | <b>安中尚史・木3限</b>      |
| 6世紀に日本へ到来した仏教は、日本人の思想や行動、文化に多大な影響を及ぼし、今日にまで至っています。本講義では、仏教伝来から国家的に受け入れられ、定着を果たした過程を概説し、さらに日本の近代化に対応しながら、新たな展開を果たした仏教界の活動を中心に講義します。  |                         |                |                      |
| <b>第2期</b>  | <b>インド仏教史 1</b>         | <b>担当</b>      | <b>高橋堯英・火1限</b>      |
| 紀元前5世紀とされるブッダ誕生とその社会背景から紀元8世紀頃から始まるイスラーム教徒の覇権伸張による仏教の衰退衰亡、近現代における仏教復興運動までのインド仏教の流れを15回の講義で概観します。  |                         |                |                      |
| <b>第1期</b>  | <b>仏教史特講 1</b>          | <b>担当</b>      | <b>手島一真・金3限</b>      |
| 仏教の中国的変容に大きな影響を与えた隋唐時代の皇帝権に焦点を当て、東アジア仏教に通底する思想性・様態の根源を探ります。   |                         |                |                      |
| <b>通年</b>   | <b>サンスクリット語 初級 I・II</b> | <b>担当</b>      | <b>戸田裕久・金5限</b>      |
| 仏教等の原典研究に必須のインドの古典語、梵語を基礎から学びます。  |                         |                |                      |
| <b>通年</b>   | <b>世界の宗教地理 1・2</b>      | <b>担当</b>      | <b>則武海源・月2限</b>      |
| 世界の宗教地理1では、西チベットに焦点を置き、特異な仏教展開をとげた西チベットの地理的条件をふまえ、周辺地域との活発な諸交渉を、歴史的背景を踏まえて考えていきます。<br>世界の宗教地理2では、中国から西北インドに至るシルクロードの諸展開に焦点を置き、河西回廊・天山南路・西北インドの地理的・歴史的背景、仏教遺跡の造営などについて考えていきます。 |                         |                |                      |
| <b>通年</b>   | <b>アジア美術史 1・2</b>       | <b>担当</b>      | <b>久保真紀子・火4限</b>     |
| 東南アジア各地にのこる仏教・ヒンドゥー教の寺院建築やその内部に祀られた尊像彫刻を観察し、そこに表現された主題を読み解くとともに、寺院造営当時の歴史的背景を考察する。  |                         |                |                      |
| <b>第1期</b>  | <b>芸術実習 [仏像 I]</b>      | <b>2時限連続講座</b> | <b>担当 秋田貴廣・金4-5限</b> |
| この授業では仏像彫刻の制作実習を行います。実際に小像を造りながら、彫刻芸術としての仏像の造形的世界を体感するとともに、自分の感性のあり方を探り、知ることを目的とします。<br>[材料費・鋳造費用は別途徴収]   |                         |                |                      |

※ 斜字体 の科目は、半期開講の講座科目です。

| 海外仏教文化研修2  | 集中講座 | 研修地 | ネパール | 担当 | 則武海源・三輪是法 |
|--|------|-----|------|----|-----------|
| <p>本年度の海外仏教文化研修はネパールです。釈尊生誕の地ルンビーニー、釈迦族の居城（四門出遊の地）ティラウラコットはもとより、悪人成仏や生母マヤ夫人・妻ヤショダラの故郷デーヴァダッタ村、カトマンズ盆地の仏教・ヒンドゥー教遺跡、三つの古都などを精力的に巡ります。</p> <p>今回は、ネパールとの交流が深い著名なアルピニストで本学客員教授の竹内洋岳先生（日本人初8000m峰14座登頂）のご協力により、大使館での日尼文化交流やNGO農園視察などの文化交流も予定されています。</p> <p>《研修期間》令和6年8月26日（月）～9月3日（火）（9日間）</p> <p>【第1回】事前学習会 4月6日（土）4時限（14:30～16:10）<br/> 【第2回】事前学習会 6月8日（土）4時限（14:30～16:10）<br/> 【第3回】事前学習会 7月20日（土）4時限（14:30～16:10）<br/> 【第4回】事後学習会 9月21日（土）4時限（14:30～16:10）</p> <p>※教室等の詳細は、ポータルサイトや仏教学部掲示板等で別途提示します。</p>      |      |     |      |    |           |
| 国内仏教文化研修2  | 集中講座 | 研修地 | 岩手県  | 担当 | 秋田貴廣・本間俊文 |
| <p>本授業は、実地の見学・研修と事前事後の学習を併せて行うことによって、日本における仏教文化とその周辺について体験的に学修することを目的とします。本年度は、「みちのくの仏像と宮沢賢治の信仰」というテーマで、東北地方に遺されているきわめて個性的かつ彫刻的な仏像作品や、近代を代表する詩人・童話作家の一人である宮沢賢治（1896-1933）ゆかりの地を中心に研修を行います。</p> <p>《研修期間》令和6年9月8日（日）～10日（火） 2泊3日</p> <p>事前学習会を以下の通り4回開催し、各寺院・仏像等の特色や、その歴史的背景について予備知識を得ます。</p> <p>【第1回】事前学習会 4月20日（土）5時限（16:10～17:40）<br/> 【第2回】事前学習会 5月18日（土）5時限（16:10～17:40）<br/> 【第3回】事前学習会 6月15日（土）5時限（16:10～17:40）<br/> 【第4回】事前学習会 7月20日（土）5時限（16:10～17:40）</p> <p>※教室等の詳細は、ポータルサイトや仏教学部掲示板等で別途提示します。</p> |      |     |      |    |           |

## 令和6年度 授業期間および授業時間について

※下記の正式な日程は3月29日（金）に配付する学年暦および学生手帳を参照してください。

|            |            |                   |
|------------|------------|-------------------|
| <b>第1期</b> | <b>授業日</b> | 4月9日（火）～7月27日（土）  |
|            | <b>補講日</b> | 7月24日（水）・7月25日（木） |
| <b>第2期</b> | <b>授業日</b> | 9月20日（金）～1月20日（月） |
|            | <b>補講日</b> | 1月21日（火）・1月22日（水） |

〔休日授業日〕 … 祝日であっても授業を実施する日

- ※ 4月29日「昭和の日」は授業を行います。
- ※ 6月15日「大学創立記念日」は授業を行います。
- ※ 7月15日「海の日」は授業を行います。
- ※ 9月23日「振替休日」は授業を行います。
- ※ 11月23日「勤労感謝の日」は授業を行います。

〔振替授業日〕 … 授業回数均一化のための変則授業日（曜日が交換となるわけではありません）。

- ※ 5月7日は月曜日の授業を行い、火曜日授業は行いません。
- ※ 11月5日は月曜日の授業を行い、火曜日授業は行いません。
- ※ 11月13日は土曜日の授業を行い、水曜日授業は行いません。

|                  | 時 限 | 開始時間 ～ 終了時間 | 備 考 |
|------------------|-----|-------------|-----|
| 授<br>業<br>時<br>間 | 1時限 | 9:00～10:30  |     |
|                  | 2時限 | 10:40～12:10 |     |
|                  | 3時限 | 12:50～14:20 |     |
|                  | 4時限 | 14:30～16:00 |     |
|                  | 5時限 | 16:10～17:40 |     |
|                  | 6時限 | 18:00～19:30 |     |
|                  | 7時限 | 19:40～21:10 |     |

### 【個人情報の取扱い】

ご提供いただきます個人情報は、法令等に定める一定の場合を除き、利用目的以外には利用しません。なお、利用目的の詳細につきましては本学ホームページ内の「個人情報保護の取り組み」をご覧ください。

[https://www.ris.ac.jp/rissho\\_school/release\\_information/compliance/personal\\_info\\_protection.html](https://www.ris.ac.jp/rissho_school/release_information/compliance/personal_info_protection.html)